

ニッセイ インターネットアンケート ～「スポーツの日」について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「スポーツの日」に関するアンケート調査を実施しました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2023年9月1日(金)～9月18日(月)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：12,497名(男性：6,199名、女性：6,185名、その他・無回答：113名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	319	771	1,070	1,976	1,378	685	6,199
女性	464	952	1,094	1,928	1,178	569	6,185
合計	783	1,723	2,164	3,904	2,556	1,254	
割合	6.2%	13.7%	17.2%	31.1%	20.3%	10.0%	

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問1～6

【中学生・高校生時代のスポーツ実施状況について】

- 若年層になる程、「スポーツをしていた」と回答した方が多かった。
男性は「野球・ソフトボール」、女性は「テニス・ソフトテニス」が最多。
- 「もし中学生・高校生時代に戻れるなら、どんなスポーツをしてみたいか」という質問に対して、男性は「ゴルフ」、女性は「ダンス・チアダンス」「弓道」が上位にランクインする結果となった。
- 「ゴルフ」を選択した理由は、「現在そのスポーツをしている」が最多。

【現在のスポーツ実施状況について】

- 約4人に1人が、「現在スポーツをしている」と回答。
スポーツをする理由として、「健康維持」のためと回答した方が約7割を占めた。

ポイント②

質問7～10

【スポーツ観戦について】

- 観戦したいスポーツは、約6割が「野球」、約4割が「サッカー」と回答した。
- 「野球」「サッカー」の次に40代以下は「バスケットボール」、50・60代は「ラグビー」と回答する方が多かった。
- 「インターネット配信」での観戦は、30代以下の割合が60代の約2倍となった。

【一番好きなスポーツ選手について】

- 約6割が、「大谷翔平」選手と回答した。
主な理由は、「活躍している」「努力家」「礼儀正しい」などが挙げられた。

ポイント③

質問11～12

【パリ五輪について】

- 注目している新種目は、「バスケットボール3×3」が最も多かった。
- パリ五輪から追加される「ブレイクダンス(ブレイキン)」は5位に入った。
- 全体と比べて、30代以下がメダルを期待している種目の上位に「バスケットボール」がランクインした。

質問1 中学生・高校生時代、スポーツをしていましたか？（回答者数：11,686名）

質問2 <質問1で「はい」と回答した方への質問>

中学生・高校生時代、どんなスポーツをしていましたか？（回答者数：8,661名）

質問3 もし中学生・高校生時代に戻れるなら、どんなスポーツをしてみたいですか？

（回答者数：11,319名）

質問4 <質問3で回答した方への質問>

そのスポーツを選んだ理由は何ですか？（回答者数：11,319名）

質問5 現在、何かスポーツをしていますか？（回答者数：11,742名）

質問6 <質問5で「はい」と回答した方への質問>

スポーツをしている理由は何ですか？（回答者数：3,470名）

- 若年層になる程、中学生・高校生時代に「スポーツをしていた」と回答した方が多かった。
- 中学生・高校生時代にしてきたスポーツについて、男性は「野球・ソフトボール」、女性は「テニス・ソフトテニス」と回答した方が最も多かった。
- もし中学生・高校生時代に戻れるなら、男性は「ゴルフ」、女性は「ダンス・チアダンス」「弓道」をしてみたかったと回答した方が、上位にランクインした。

■中学生・高校生時代、スポーツをしていましたか？

(%)

内容	割合	性別		年代						
		男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
はい	68.0	75.6	60.7	75.3	72.0	72.2	69.3	64.4	53.7	



■中学生・高校生時代、どんなスポーツをしていましたか？ <男女別>

<男性>

(%)

順位	種目	割合
1	野球・ソフトボール	21.5
2	テニス・ソフトテニス	13.7
3	サッカー	12.2
4	バスケットボール	12.0
5	卓球	10.8

<女性>

(%)

順位	種目	割合
1	テニス・ソフトテニス	22.3
2	バレーボール	20.0
3	バスケットボール	14.9
4	卓球	11.0
5	陸上競技	9.7

19	ゴルフ	0.6
----	-----	-----

12	ダンス・チアダンス	2.6
13	弓道	2.0

■もし中学生・高校生時代に戻れるなら、どんなスポーツをしてみたいですか？ <男女別>

<男性>

(%)

順位	種目	割合
1	野球・ソフトボール	19.0
2	サッカー	9.9
3	ゴルフ	8.1
4	テニス・ソフトテニス	7.9
5	バスケットボール	6.6

<女性>

(%)

順位	種目	割合
1	テニス・ソフトテニス	13.3
2	ダンス・チアダンス	13.2
3	弓道	10.3
4	バドミントン	9.3
5	バスケットボール	6.3

男性は「ゴルフ」、女性は「ダンス・チアダンス」「弓道」をしてみたかったと回答した方が、上位にランクインした

■「もし中学生・高校生時代に戻れるなら、どんなスポーツをしてみたいですか？」に回答した方へ
そのスポーツを選んだ理由は何ですか？

<全体> (%)

順位	理由	割合
1	興味があった	36.9
2	憧れていた	9.4
3	手軽に始められそう	8.6
4	当時はそのスポーツをできる環境がなかった	7.5
5	自分の能力や体力を最も生かせそう	7.2
6	現在そのスポーツをしている	5.6
7	やらずに後悔した	5.3
8	知人がそのスポーツをしていた	2.5
9	最近人気が出てきた	2.1
10	プロになれば稼げそう、収入が高そう	1.1

<ゴルフを選択された方> (%)

順位	理由	割合
1	現在そのスポーツをしている	24.9
2	興味があった	23.0
3	当時はそのスポーツをできる環境がなかった	19.7
4	プロになれば稼げそう、収入が高そう	6.3
5	やらずに後悔した	4.1
6	憧れていた	3.9
7	手軽に始められそう	3.5
8	自分の能力や体力を最も生かせそう	3.5
9	知人がそのスポーツをしていた	1.8
10	最近人気が出てきた	1.3

<ダンス・チアダンスを選択された方> (%)

順位	理由	割合
1	興味があった	32.2
2	当時はそのスポーツをできる環境がなかった	18.2
3	憧れていた	18.1
4	手軽に始められそう	8.2
5	最近人気が出てきた	6.6
6	やらずに後悔した	3.7
7	現在そのスポーツをしている	3.7
8	自分の能力や体力を最も生かせそう	1.9
9	知人がそのスポーツをしていた	1.5
10	プロになれば稼げそう、収入が高そう	0.1

<弓道を選択された方> (%)

順位	理由	割合
1	興味があった	44.9
2	憧れていた	18.4
3	当時はそのスポーツをできる環境がなかった	16.9
4	自分の能力や体力を最も生かせそう	3.1
5	知人がそのスポーツをしていた	3.1
6	やらずに後悔した	2.8
7	手軽に始められそう	1.3
8	現在そのスポーツをしている	0.6
9	最近人気が出てきた	0.5
10	プロになれば稼げそう、収入が高そう	0.3

■現在、何かスポーツをしていますか？

(%)

内容	割合						
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
はい	26.8	25.4	21.9	23.3	26.5	30.7	33.0

増加傾向

■「現在、何かスポーツをしていますか？」に「はい」と回答した方へ、現在スポーツをしている理由は何ですか？

<現在スポーツをしている理由> (%)

順位	理由	割合
1	健康維持	62.4
2	体を鍛える・トレーニング	27.5
3	ストレス発散	20.3

<ニッセイ基礎研究所生活研究部 主任研究員 井上 智紀のコメント>



もし中学生・高校生時代に戻れるならやりたいスポーツは、男性は「ゴルフ」、女性は「ダンス」・「弓道」が上位に挙げられました。それらを選んだ理由として、全体では「興味があった」と回答された方が3割以上と最上位となっている中、ゴルフは「現在そのスポーツをしている」が上回る一方、ダンス・弓道は「憧れていた」「当時はそのスポーツをできる環境がなかった」が次いで多くなっています。

ダンスについては義務教育で必修化された2012年以前に卒業していたことが、弓道についてはそもそも必修ではなく取り組む場所が限られることが、それぞれ学生時代に触れる機会を逸する主な理由となっていると思われます。これらが映画やアニメ、演劇などの題材として取り上げられ話題となったことに加え、近年の健康意識の高まりも相まって、それぞれ女性人気を高めることにつながっているのではないのでしょうか。

質問7 どのスポーツを観戦するのが好きですか？ (回答者数：8,302名)

質問8 どのように観戦しますか？ (回答者数：8,209名)

質問9 今、一番好きな現役スポーツ選手は誰ですか？ (回答者数：8,186名)

質問10 <質問9に回答した方へ>

その選手が好きな理由は何ですか？ (回答者数：5,467名)

- 観戦したいスポーツは、約6割が「野球」、約4割が「サッカー」と回答した。
- 「野球」「サッカー」の次に、40代以下は「バスケットボール」、50・60代は「ラグビー」と回答する方が多かった。
- 「インターネット配信」での観戦は、30代以下の割合が60代の約2倍となった。
- 約6割が、「大谷翔平」選手と回答した。
- 主な理由は、「活躍している」「努力家」「礼儀正しい」などが挙げられた。

■ どのスポーツを観戦するのが好きですか？

「野球」「サッカー」の次に、40代以下は「バスケットボール」、50・60代は「ラグビー」と回答する方が多かった

(%)

順位	種目	割合	年代別割合 (%)					
			~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
1	野球	58.9	55.8	53.6	58.8	60.4	59.0	61.8
2	サッカー	34.7	33.9	38.3	38.4	35.4	33.4	25.7
3	バスケットボール	19.3	22.1	22.7	22.8	18.1	17.0	16.3
4	ラグビー	18.7	7.7	13.3	15.1	21.7	23.4	17.8
5	バレーボール	17.4	22.9	18.4	18.5	17.5	16.1	13.7

■ どのように観戦しますか？

「インターネット配信」での観戦は、30代以下の割合が60代の約2倍となった

(%)

順位	観戦方法	割合	年代別割合 (%)					
			~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
1	TV中継	86.8	78.2	81.3	83.9	88.5	91.2	88.2
2	現地で直接観戦	29.7	34.7	36.0	33.6	32.5	23.8	17.0
3	インターネット配信	10.3	15.8	15.9	12.8	10.1	7.3	3.7

60代の約2倍

- 今、一番好きな現役選手は誰ですか？
- 「今、一番好きな現役選手は誰ですか？」で回答した方へ、その選手が好きな理由は何ですか？

<好きな選手上位10名>

(%)

順位	選手	割合
1	大谷翔平（野球）	63.9
2	三苫薫（サッカー）	4.8
3	八村塁（バスケット）	2.3
4	佐々木朗希（野球）	2.2
5	羽生結弦（フィギュアスケート）	2.0
6	渋野日向子（ゴルフ）	1.8
6	ダルビッシュ有（野球）	1.8
8	早田ひな（卓球）	1.5
8	石川祐希（バレーボール）	1.5
10	久保建英（サッカー）	1.4

<大谷選手を好きな理由>

(%)

順位	理由	割合
1	活躍している・成績を残している	73.1
2	努力家な姿	32.0
3	礼儀正しさ	30.2
4	メンタルの強さ	17.7
5	ポジティブさ	15.3
6	プレースタイル	10.8
7	コメント・発言	8.5
8	その他	2.7
9	地元が同じ	1.0

約 6 割が「大谷翔平」選手と回答した、主な理由として、「活躍している」「努力家な姿」「礼儀正しさ」が挙げられた

<ニッセイ基礎研究所生活研究部 主任研究員 井上 智紀のコメント>

観戦したいスポーツは、約 6 割が「野球」、約 4 割が「サッカー」と回答しました。次いで多いスポーツは、40 代以下は「バスケットボール」、50・60 代は「ラグビー」と世代により差がみられています。

「野球」、「サッカー」は国内の競技人口も多く、広く関心を集めているものと思われます。両競技間で観戦したい割合に差がでた背景には、それぞれプロスポーツにおける試合数や開催頻度が影響している可能性もあるのではないのでしょうか。

ワールドカップでの日本代表の活躍ぶりが記憶に新しいバスケットボールも、前掲の通り学生時代の競技人口は多く、2016 年の Bリーグ発足以降はプロスポーツの観戦機会を増やしてきており、中高年層が早々にワールドカップ開催中のラグビーに関心を移す中、昨年映画が公開され話題となった「SLAM DUNK」の中心世代である 30～40 代以降の若年層が支持層となっていることを示しているものと思われます。

なお、「インターネット配信」での観戦は、30 代以下の割合が 60 代の約 2 倍となっていました。

TVは近年、スポーツ中継を減らす傾向にあり、特に野球以外のスポーツでは、広く関心が集まる国際大会などを除いて、事実上、インターネット配信に限られる場合も少なくありません。一方、若年層ではそもそも自宅にTVを置かない方も増えています。こうした観戦方法の世代間の差はこれらのことが相まって生じているものと思われます。

質問 11 近年（2016 年以降）新たに加わった種目のうち、パリ五輪で、注目しているものは何ですか？

（回答者数：9,226 名）

質問 12 パリ五輪でメダルを期待している種目は何ですか？（回答者数：10,379 名）

- 注目している新種目は、「バスケットボール 3×3」が最も多かった。
- パリ五輪から追加される「ブレイクダンス（ブレイキン）」は 5 位に入った。
- 全体と比べて、30 代以下がメダルを期待している種目の上位に「バスケットボール」がランクインした。

■近年（2016年以降）新たに加わった種目のうち、パリ五輪で、注目しているものは何ですか？
(%)

順位	種目	割合
1	バスケットボール 3×3	28.1
2	スポーツクライミング	16.8
3	スケートボード	15.4
4	ゴルフ	13.4
5	ブレイクダンス (ブレイキン)	13.1
6	7人制ラグビー	10.8
7	サーフィン	9.7
8	パラバドミントン	3.4
9	パラトライアスロン	2.0
10	パラカヌー	1.0
10	パラテコンドー	1.0

注目している新種目は、「バスケットボール 3×3」が最も多かった

パリ五輪から追加される「ブレイクダンス」は 5 位に入った

■パリ五輪でメダルを期待している種目は何ですか？

30代以下がメダルを期待している種目の上位に「バスケットボール」がランクインした

<全体> (%)

順位	種目	割合
1	水泳	29.4
2	柔道	27.0
3	卓球	19.4
4	陸上競技	19.0
5	体操	18.6
6	バスケットボール	15.4
7	バドミントン	11.6
8	車いすテニス	11.4
9	スケートボード	10.9
10	レスリング	8.4

<30代以下> (%)

順位	種目	割合
1	水泳	28.0
2	柔道	20.1
3	バスケットボール	18.3
4	陸上競技	15.3
5	卓球	14.5
6	体操	13.2
7	スケートボード	10.1
8	バドミントン	9.3
9	車いすテニス	8.1
10	レスリング	7.0

<ニッセイ基礎研究所生活研究部 主任研究員 井上 智紀のコメント>

「ブレイクダンス(ブレイキン)」は、先日の世界選手権でも日本勢は男女ともメダルを獲得しており、オリンピックでの活躍も期待されるようですが、そもそもの競技に対する馴染みの薄さが注目に繋がらない要因となっているものと思われます。

一方で、全体と比べて、30代以下がメダルを期待している種目の上位に「バスケットボール」がランクインしたことは、先のワールドカップでの男子日本代表の活躍のほか、女子日本代表はまだ出場権獲得には至っていないものの東京五輪では銀メダルを獲得していること、それぞれ大会期間中や予選を兼ねた国際大会において男女とも同世代の活躍が広く報じられてきたことなどが期待の醸成につながっているのではないのでしょうか。

以上

2023-2383G, 広報部